

鎌ヶ谷市施策評価表(事後)

施策の名称	123芸術・文化の振興		
施策のねらい (めざす姿)	地域に根ざした市民文化が創造され、その活動が広く展開されています。また、歴史、文化遺産が適切に保存、継承され、周知・活用されています。		
基本目標	1「健康で生きがいのある福祉・学習都市」をめざして	施策担当マネージャー	生涯学習部次長
政策	12生きがいのある暮らしができる生涯学習社会をつくります	マネージャー氏名	柴田 康弘

I 改革・改善内容(=施策をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	コスト縮減して現状を維持する。	③改革・改善内容	芸術文化の発表機会、鑑賞機会の増大と芸術文化活動への更なる参加機会の周知を図る。
②①に基づく取り組み結果	芸術文化事業及び国史跡周知活用事業を市民との協働により実施した。		

II 施策の目的・概要

①目的	対象	①市民②(仮称)文化センター③文化財	意図(対象をどうするのか)	①地域に根ざした市民文化が創造され、その活動が広く展開されている。②市民文化の創造・活動拠点となる(仮称)文化センターが設置されている。③歴史・文化遺産が適切に保存・継承され、周知活用されている。
②施策の概要	市民との協働による各種事業を幅広く展開することで、更に文化芸術に対する周知を図る。			
③環境分析(状況変化や今後の見込み・市民意向など)	きりりホールが整備されたことにより、市民の文化芸術に対する関心が更に高まる。また、高齢人口、定住人口の増加により、郷土の歴史に対して興味関心を持つ人が増大することが見込まれる。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25～26年度の施策の成果	市民との協働事業(市民文化祭、市美術展覧会、国史跡周知事業)により、幅広い分野で多くの市民が参加し、地域文化の創造に資することができた。						
②施策成果指標	指標名称		単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	目標値(27年度)
	i	市民文化祭等市主共催芸術文化事業参加・発表者数	人	1,664	1,910	1,866	2,500
	ii	指定文化財数	件	29	31	31	30
	iii						
③基本事業成果指標	i	市民文化祭参加団体数	団体	127	125	129	138
	ii	市史等刊行図書数	点	50	56	57	57
	iii						
	iv						
	v						
	vi						
	vii						
	viii						
	ix						
④施策の事業費	平成25年度決算	平成26年度決算	市民一人あたり事業費(26年度決算)	平成27年度予算			
事業費(千円)	68,263	222,356	(単位:円)	2,047	円	206,409	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	市民との協働が定着していく為に必要な市民と行政との相互理解及び信頼関係の構築には時間を要するが、粘り強く進める必要がある。		
②総合評価	2概ね達成	③総合評価の理由	芸術文化事業、芸術鑑賞事業や国史跡の周知事業など、市民との協働により事業を実施してきており、今後も更なる推進をしていく。

V 今後の方向性

①成果の方向性	↑ 向上	②コストの方向性	→ 維持
③特に重点化する事務事業	国史跡下総小金中野牧跡保存整備事業		
④上記方向性の説明	本市の重要な存立基盤である歴史文化遺産を保護し、周知するうえで、市民との協働を進めることは更なるコストの縮減が可能となるとともに、市民の自主的な活動の活性化に資する。		